

【海岸】県民の生命と財産を守る港湾海岸津波対策（防災・安全）

1. 目標

【現状】

県港湾管内の海岸線において、以下の課題を抱えている。

- ①将来、山形県日本海沖巨大地震等で発生が想定されるL1津波※1高さに対し、現況の高さが低い箇所がある。
- ②老朽化などで防護機能が低下している海岸保全施設がある。

【目標】

- ①L1津波高さに対し、防護ライン※2での現況の高さが低い区間において防潮堤を整備する。
 - ②老朽化により防護機能が低下している海岸保全施設を補修補強する。
- これらにより、津波・高潮に対する浸水被害を軽減させ、安全・安心な港湾海岸を実現する。

※1 L1津波：数十年から百数十年の頻度で発生する、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波。人命・住民財産の保護、地域経済の安定化等の観点から、防護施設の整備による対策（ハード対策）を基本とする。

※2 防護ライン：背後に家屋等の守るべき資産が存在している区間に線を引くことで、津波浸水を防ぐ目安とする線。

成果目標	H28	H30	R2
①防潮堤整備率	0%	63%	100%
②護岸整備(補修)率	0%	0%	24%

防潮堤整備率 = 整備完了延長 ÷ 整備計画総延長
 護岸整備(補修)率 = 整備完了延長 ÷ 整備計画総延長

2. 事業の内容

➤事業の期間：平成28年度～令和2年度(5年間)

➤事業の主な内容

- 基幹事業：①防潮堤整備
 - ・加茂港海岸防潮堤整備：完了 ※事例①
 - ・鼠ヶ関港海岸防潮堤整備：整備不要
- ②護岸整備(補修)
 - ・酒田港海岸西護岸補修：進捗 ※事例②
- 関連事業および効果促進事業：なし

➤事業実施主体：山形県

➤事業数と事業費：

上段括弧書き：計画
下 段：実施

基幹事業	効果促進事業	計
(3箇所3.56億円) 2箇所2.56億円	—	(3箇所3.56億円) 2箇所2.56億円

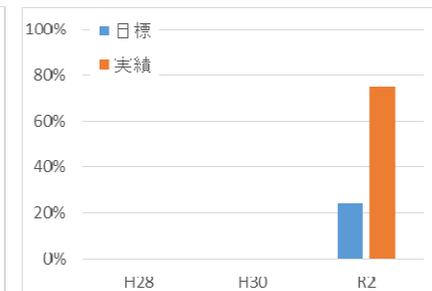
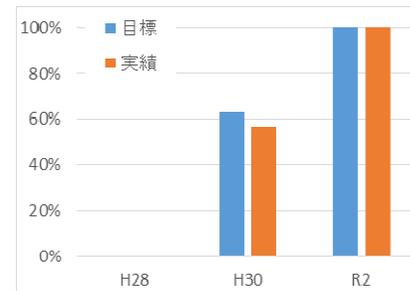
3. 事業による効果

➤ 防潮堤が完成し、整備率が向上

①R2:目標100% → 実績100%

➤ 護岸補修が進捗し、整備率が向上

②R2:目標24% → 実績75%



4. 評価と今後の対応

加茂港の防潮堤が完成したことで、L1津波に対する安全性が確保された。老朽化の進んだ海岸保全施設について、補修工事が進捗したことで、安全性が向上し長寿命化が図られた。

老朽化対策については、引き続き計画的に進め海岸施設の安全性の確保に努めていきたい。

5. 整備効果事例

【事例①】加茂港海岸 防潮堤整備



整備前



整備後

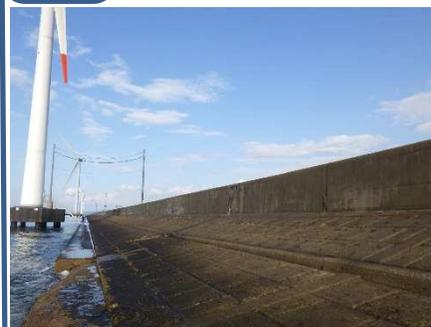


・防潮堤が完成し、L1津波に対する安全性が確保された。

【事例②】酒田港海岸 西護岸補修



整備前



整備後



鉄筋露出状況【波返し部】



・護岸補修が進捗し、高潮に対する安全性が向上した。